

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果 〈利根町教育委員会〉

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果の分析を基に、利根町の小中学生の傾向を掲載します。今年度からA：知識を問う問題、B：活用する力を問う問題の分類がなくなり、知識と活用を一体的に問う問題形式になりました。また、初めて中学校で英語の調査が実施されました。なお、この調査は学力の一部をはかるもので、学力のすべてを示すものではありません。

1 調査実施日 平成31年4月18日（木）

2 調査対象 小学6年生，中学3年生

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語科，算数・数学科，英語科）

□身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

□知識技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

□学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査

4 教科に関する調査の結果（○：成果，●：課題）

(1) 小学校【国語科】

- 図表やグラフなどを用いた目的を捉える力 【書く能力】
- 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える力 【書く能力】
- 目的に依じて、本や文章全体を概観して効果的に読む力 【読む能力】
- 漢字を文の中で正しく使う力 【言語についての知識・理解・技能】
- 目的に依じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む力 【読む能力】
- 目的に依じて、質問を工夫する力 【話す・聞く能力】

(2) 小学校【算数科】

- 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成する力 【数量や図形についての技能】
- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算する力 【数量や図形についての技能】
- 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する力 【数学的な考え方】
- 棒グラフから一方の数量がもう一方の数量の何倍になっているかを読み取る 【数量や図形についての技能】
- 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの数量の増減を判断し、その理由を記述する力 【数学的な考え方】
- 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述する力 【数学的な考え方】

(3) 中学校【国語科】

- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を伝える力 【読む能力】
- 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つ力 【読む能力】
- 封筒の書き方を理解して書く力 【言語についての知識・理解・技能】
- 語の一部を省いた表現について、話や文章の中で適切な活用の仕方を理解する力 【言語についての知識・理解・技能】



(4) 中学校【数学科】

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力 【数学的な見方や考え方】
- 四角形について、結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明する力 【数学的な見方や考え方】
- 反比例の表から、 x と y の関係を式で表す力 【数学的な技能】
- 連続する4つの奇数の和について、式を変形したときに表される式がどのような数になるのかを総合的・発展的に考察する力 【数学的な見方や考え方】

(5) 中学校【英語科】

- まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解する力 【外国語理解の能力】
- 与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話す力 【外国語表現の力】
- 与えられた情報や語句に基づいて、会話が成立するように英文を書いたり説明を書いたりする力 【言語や文化についての知識・理解】
- 聞いて把握した内容について、やり取りする力 【外国語表現の力】

(6) 今後に向けて

【学校における取組】

- ◎ 主体的・対話的で深い学びの実践（授業アイデア例の活用）
- ◎ 教科書を使った丁寧できめ細かな指導（基礎的な内容～活用的な内容まで）
- ◎ 情報活用能力の育成（一定の時間内に一定量の情報を処理し、表現する力）

【国語科】

- ◇ 意味を理解した語句を話や文章の中で使うことができる活動の工夫
- ◇ 事柄や根拠を明確にして自分の考えを表現できる活動の工夫

【算数・数学科】

- ◇ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫
- ◇ 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動の工夫



【英語科】

- ◇ 児童生徒の言語活動を中心とした授業づくりの工夫（Small Talk の取組）
- ◇ 小中高の学習内容の系統性や継続性と重視した到達目標設定や指導の工夫

5 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の結果

(1) 小学校



- 毎日朝食を食べている児童の割合が高いです。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている児童の割合が高いです。
- 将来の夢や目標をもっている児童の割合が高いです。
- 「学校のきまりを守っている」と思っている児童の割合が高いです。
- 今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が高いです。
- 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と思っている児童の割合が全国と比較すると低いです。
- 「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがあります」と思っている児童の割合が全国と比較すると低いです。
- 「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と思っている児童の割合が全国と比較すると低いです。
- 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と思っている児童の割合が全国と比較すると低いです。

(2) 中学校



- 毎日朝食を食べている生徒の割合が高いです。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている生徒の割合が高いです。
- 「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」と思っている生徒の割合が高いです。
- 「自分には、よいところがある」と思っている生徒の割合が高いです。
- 「学校のきまりを守っている」と思っている生徒の割合が高いです。
- 「読書は好き」と思っている生徒の割合が高いです。
- 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と思っている生徒の割合が高いです。
- 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と思っている生徒の割合が高いです。
- 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と思っている生徒の割合が全国と比較すると低いです。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と思っている生徒の割合が全国と比較すると低いです。

(3) 今後に向けて



【学校における取組】

- ◇ 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする活動の充実
- ◇ 学校の実態や児童生徒の発達の段階などを考慮し、各教科等との関連を図った指導計画の改善・充実
- ◇ いじめ等問題行動に向かわないための児童生徒の自主的な活動の充実
- ◇ 学校と家庭、地域社会、関係機関との情報連携の推進と行動連携の強化

【家庭や地域における取組】

- ◇ 基本的な生活習慣の確立（朝食をとる・就寝時間・計画的な自主学習等）
- ◇ 自尊感情の育成（会話をする習慣・良いところを褒める・愛情をもって育てる）
- ◇ 社会性や人間性の育成（挨拶と礼儀・体験活動の充実・学習環境の整備等）